

あいさつ運動の好事例

赤磐市立山陽小学校

(児童数 360 名 教職員数 35 名)

PTAや中学生とハイタッチ！ ～ PTAや中学生との連携 ～

アピールポイント

PTA保健部の保護者の皆さんが自主的に毎月10日にあいさつ運動を行い、本校児童会とともにハイタッチをすることで、児童に元気を与えて下さっている。

また、日頃から小中連携で関わりのある高陽中学校生徒会も自主的にあいさつ運動を展開してくれている。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

基本的な生活習慣はほぼ身につけているが、元気のよいあいさつがもっと進んでできるようになってほしいという願いを、学校も保護者ももっている。児童会活動が活発になり、自分たちでアイデアを凝らして全校あいさつ運動を展開しようとする意欲をもっている。

■活動内容

毎月10日に、PTA保健部と児童会が校門であいさつ運動を展開している。保護者ボランティアの参加も伝統となってきた。高陽中学校生徒会（生活交通委員会）も自主的にあいさつ運動を進めてくれており、本校児童会のよい手本となっている。

■取組の参加メンバー

教職員、児童会、PTA保健部保護者、保護者ボランティア、高陽中学校生徒会（生活交通委員会）生徒

■成果・効果

- ・当初は、児童はあいさつやハイタッチをすることを恥ずかしがっていたが、慣れるにつれ、大きな声であいさつができるようになってきている。
- ・毎月10日はPTAのあいさつ運動をすることが定例化し、参加される保護者の輪が広がりつつある。
- ・高陽中学校生徒の手本となる姿を見ることで、運営委員会を中心とした児童会も、あいさつ運動に関して積極的になっている。